

CJR Newsletter

2025年9月号



Instagram



Facebook

皆さん、こんにちは。香取市役所商工観光課国際交流員のブライアンです。このニュースレターを読んでいる時は、着任してから2ヶ月が経とうとしている頃でしょうけれど、これを書いている今はちょうど1ヶ月が経ちました。香取市に着いてからたくさんの人と出逢い、新しいコミュニティに溶け込み始めました。とても充実した1ヶ月でした。

さて、今月号では私の近況について触れながら、コミュニティというものについて少し語らせていただきます。



先月香取市に来る前に、JET Programの新規千葉県国際交流員代表として（他の新規千葉県国際交流員はいなかったので選抜された訳でもないが）スピーチをしたのですが、コミュニティの大事さを軸にしていたスピーチでした。私にとってコミュニティというのは家族と並ぶくらい大切なもので、生活していく上で誰にとっても必要なのではないかと考えています。新しいところに引っ越してきて、現地の人にいかに接したり、交流したりするか考え、信頼、友情、親睦を深めたりしないと新生活がいつまで経っても始まりません。

コミュニティの大事さを初めて実感できたのは大学を卒業してすぐのことでした。その当時就活である方との対話を境に、高校・大学の時一人で黙々と自分のやりたい事だけこなして、実績どころか自分の価値を保証できる人は一人たりとも周りにいないことに気づくことができました。



交友関係を築く上で自分の利益ばかり考えていたらそれもまた勿体ないことだとは思いますが、人間は社会的動物である限り、一人だけでは成し遂げ得ないものもたくさんあります。そこで目的地を共にして将来へと歩む「仲間」がいた方が生活環境として成長しやすいと思っています。

そんな思想の持ち主が、海を越えて佐原という町に辿り着きました。

コミュニティに参加するというのは、おそらく非アメリカ的なニュアンスが根本にあるのではないかと思います。本来アメリカは個人主義がとても深く根付いている国で、コミュニティより核家族を重んじる傾向にあるとされています。結婚し子供を産み、一緒に一軒家で暮らすのが「アメリカン・ドリーム」と呼ばれており、昔は一人分の収入だけでも手に入られるようなものでした。ところが、経済の成長の仕方により私の世代にはなかなか難しいものだと思われています。職を持って、充実した家族を持って、というシンプルな幸せが物価の上がり具合等により困難なものとなり、一筋縄ではもう行かない話です。アメリカン・ドリームから醒めなければいけなくなった私の世代は、幸せ、充実感を他のところで探さなければいけなくなり、それで多くの人が辿り着いたのはコミュニティなのではないかと思っています。共通の話題、趣味、夢。何か仲間と一緒に追求することにこそ、夢があるのではないかと思っています。

日本語を学んでいる外国人は、日本がよそ者に厳しい国だと教わることは少なくありません。とはいえ、佐原で過ごしてきた1ヶ月と少しの間でそんな偏見は派手に翻され、よそ者の私に対してとても親切、且つ寛大な態度で歓迎してくださいました。私が佐原に来てからの1ヶ月で毎日出かける習慣をつけていますが、それで様々な方に巡り合い、いつの間にか「暮らしてるんだ」と実感できました。早くも1ヶ月で行きつけのカフェ、音楽仲間、仕事のリズム、生活していく上で私にとって必要なものが揃い始めて、とても嬉しく思っています。

香取市の皆さんが一緒に目的に向かって動いている訳ではないとはいえ、突き詰めれば共にするゴールがあるはずです。それは香取市を盛り上げて、様々な人にこの町のことを知ってもらうことにあると思います。遠くから香取市に来た人も、地元の人でも、家業や商売、伝統文化や現代文化を通して香取市、香取市民の利益になるように頑張っている様子を見て、私もどうにかこの町の将来に繋がるようなことがしたいと思っています。